

平成28年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成29年3月17日

研究・研修課題名	がん薬物療法認定薬剤師およびがん専門薬剤師の資格更新に必要な研修会への参加（会場：東京）
研究・研修組織名（所属）	薬剤部
研究・研修責任者名（所属）	井上 昌樹（薬剤部）
共同研究・研修者名（所属）	井上 昌樹（薬剤部）

目的及び方法、成果の内容

①目的（800字程度）

新規抗がん薬、新規分子標的薬は日々著しく進歩しており、それに伴い治療レジメンも多様化されている。また、患者の苦痛を和らげる支持療法薬も次々に開発されており、がん化学療法に対する診療支援を行う薬剤師としては常に最新の知識を修得しておく必要がある。本領域の専門認定薬剤師として、日本病院薬剤師会のがん薬物療法認定薬剤師および日本医療薬学会のがん専門薬剤師がある。特に後者は、平成22年5月に「広告が可能な医師等の専門性に関する資格」として厚生労働省が認めている。また、これらの資格は平成26年度の診療報酬改定により新設された「がん患者指導管理料3」の算定要件にも掲げられている。

現在、がん薬物療法認定薬剤師の資格を有し、今後がん専門薬剤師の資格を取得する予定であり、日常的に外来化学療法室や腫瘍センター病棟において患者指導や副作用モニタリング、投与量の確認などを行い、「薬剤管理指導料2」や「がん患者指導管理料3」を算定している。また、後進の育成や看護師への情報提供なども行っている。

これらの資格の更新・取得には、がん専門薬剤師集中教育講座の受講および学会が認定する他の講習会、セミナーへの参加による、単年ならびに複数年における規定単位の取得が義務付けられている。そのため、更新・取得に必要な要件を充足することを目的に研修会へ参加する。

②方法（800字程度）

平成28年度のがん専門薬剤師集中教育講座は下記の日程で開催される。

- ・ 京都会場：平成28年7月2日～3日
- ・ 福岡会場：平成28年12月3日～12月4日
- ・ 東京会場：平成29年2月11日～2月12日

いずれかの会場あるいは学会が認定する他の講習会、セミナーに参加し受講する。受講後、部内にて研修内容を報告することにより、他の薬剤師へ知識を伝達する。

③成果（データ等の図表を入れて2000字程度）

平成29年2月11日～2月12日に東京にて開催された、がん専門薬剤師集中教育講座に受講の予定であったが、風雪により交通機関が運休したため受講できなかった。

そのため、「病院医学教育研究費」についても執行に至らなかった。